5.おらがた　あきてん

○おらがたかしだし

貸出　田中

先月、「おもしろかったかもしれないデイジー図書ベスト10」と題して図書を紹介したところ、結構反響がありました。

問い合わせなどを通じて、利用者の皆様との会話が増えました。ありがとうございます。そこで、今月も気になるデイジー図書をご紹介します。

○未だ行ならず（上・下）　空也十番勝負　青春篇　佐伯泰英　著

あらすじ

長崎へと辿り着いた坂崎空也は、島巡りで出会った長崎会所の鵜飼寅吉と再会した。そして、長崎奉行の命により「大阪中也」という偽名を名乗り武者修行を続けることになった。緊迫の五番勝負。累計2000万部を突破した「居眠り磐音江戸双紙」に続く物語の最新版。新刊を楽しみにしていた方は多いと思います。「居眠り磐音江戸双紙」はNHKテレビドラマにもなっていた、大ヒット作です。まだお聞きになられていない方、この機会にどうぞ。

○しゃばけシリーズ17　むすびつき　畠中恵　著

あらすじ

自称「若だんなの生まれ変わり」という死神が、三人も長崎屋に乗り込んできた。その上、前世の若だんなに会ったことがあると言い出す妖が続出。さて、前世の若だんなはいったいどんな人だったのか。お待ちかねの方は多いと思います。大人気シリーズ第7弾。時代背景は江戸時代です。主人公のほっこりのんびりした若だんなと若だんなを取り巻く妖のドタバタに、思わずウフフと顔がほころびます。癒されます。

○終わった人　内館牧子　著

あらすじ

仕事一筋だった田代壮介は定年を迎えて途方に暮れた。「まだ俺は成仏していない」と職捜しをする。生き甲斐を求め、居場所を探して、惑い、あがき続ける男に再生の時は訪れるのか。今年度の第61回ブルーリボン賞で舘ひろしが主演男優賞を受賞した「終わった人」の原作です。題が辛辣な感じですが、中身は結構コミカルです。

2月は節分がありました。皆さん豆まきはしましたか？うちは直に豆をまくと床が散らかるので、妻は大きな箱を持って、豆まきをする夫の前に立ちはだかります。それってどうなの？と子供に疑問視されますが、これが我が家の豆まきです。4歳の孫が「まめまき」の歌を大きな声で歌ってくれました。

おにはそと

ふくはうち

ぱらっ　ぱらっ

ぱらっ　ぱらっ

まめのおと

おには　そっこり

にげていく

ん？

「おにはこっそりにげていくじゃないの？」とつっこんでみました。もう一度歌わせてみても同じです。彼女は違いが判らないようです。ほっとくことにしました。そういえば、娘も小さいとき、「とうもろこし」が「とうもころし」になっていました。何回「とうもろこし」と教えても、「とうもころし」と返ってきます。やはり違いがわからない様子です。そのうち母もあれ？「とうもころし」だったっけ？となってきました。その他、めがねがめなげ、ソーセージがソージーセ、マヨネーズがマネヨーズ。などといろいろありましたが、ほっといてもきちんと言えるようになっていました。だから、全然心配していません。娘は30年以上経った今でも時々、「とうもころし」と言い間違えることがあると笑っています。娘よ母もです。恐るべし「とうもころし」。